

2022年6月20日

認定NPO法人 ヒューマンライツ・ナウ 御中

株式会社大林組

アンケート回答の内容更新を依頼する件

昨年7月に回答しました日本の建設業関連会社に対するアンケート回答について、以下のとおり情報を更新しましたので、宜しくお取り計らいの程お願い致します。

1 設問2：人権方針について

1-1 貴社に、人権方針はありますか。

従来の大林組人権方針を見直し、2021年9月に「ビジネスと人権に関する指導原則」など国際的な人権基準に準拠した内容に改訂し、「大林グループ人権方針」と改称しています。

1-3 人権方針には、国際人権基準が必ずしも守られていない国・地域で事業をされる場合の貴社の姿勢に触れていますか？

触れています。

「事業活動を行うそれぞれの国や地域で適用される法令を遵守し、各国や地域の法令が国際的な人権規範と異なる場合は、より高い基準に従い、矛盾する場合は、国際的な人権規範を尊重するための方法を追求します。」としています。

1-4 人権方針には、方針の実施体制（特に取締役会の責任など）について明記されていますか？もしくは、他の方針等で明記されている場合は、そのウェブサイトのリンクをこちらに貼ってください。

人権方針に明記していませんが、社外HPで「サステナビリティ推進体制」を開示しています。

<リンク先>

サステナビリティ>サステナビリティ推進体制

<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/>

## 2 設問2：サプライヤー・下請業者に対し人権方針等を実施させる方策

2-2 人権方針、調達方針、Code of Conduct（行動規範）をサプライヤー・下請業者を含むビジネスパートナーに伝達、遵守してもらうためにこれまでに実施した措置を記載してください。

主要な協力会社で構成される「大林組林友会」加盟会社を含む継続的な取引が見込まれる企業（当社国内調達額の70%）を対象に、年1回CSR調達アンケートを実施し、調達方針・ガイドラインの周知徹底と遵守状況の確認をしています。

## 3 設問3：サプライチェーンに関する人権デュー・ディリジェンスの実施について

### (1) アンケート回答内容

下表のとおりアンケート回答内容を更新いたします。

3-1 サプライチェーンに関する人権デュー・ディリジェンスは行っていますか。（以下の選択肢から選んでください）

行っている → 質問3-2～3-4にご回答ください。

一部行っている → 質問3-5にご回答ください。

行っていない → 質問3-6にご回答ください。

3-2 行っている場合、そのプロセスが説明されているウェブサイトのリンクをこちらに貼ってください。

人権デュー・ディリジェンスの実施

<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/employee.html#section1-3>

3-3 行っている場合、今まで行ったデュー・ディリジェンスの結果（人権リスクアセスメント：人権に対する負の影響のリスクに関する特定の事業や国などの調査、優先的に取り組むリスクの選定など）は公開していますか。

人権デュー・ディリジェンスの実施

<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/employee.html#section1-3>

### (2) 実施事項（2021年度）

2021年9月；人権方針を改訂し、サプライチェーンにも遵守を求める

2021年9月～10月；外国産木材、太陽光パネルのトレーサビリティ調査を実施

（以降、年次で調査を実施予定）

2021年12月；

- ・国内グループ会社全役職者を対象に、サプライチェーンマネジメントに関するeラーニングを実施
- ・調達業務の責任者・担当者および国内グループ会社担当者を対象に、外部講師を招いたサプライチェーンマネジメント研修会を実施

2022年2月；サプライチェーンに対しCSR調達アンケートを実施（年次実施）  
アンケートと合わせてCSR調達ガイドラインの周知も実施

#### 4 設問9：環境、土地

9-1 事業過程における環境破壊、環境汚染、有害化学物質使用等に対し、どのような配慮を行っていますか。※青字が追記箇所

- ・環境方針に則り環境マネジメントシステムを構築して（ISO14001 認定取得）、地球環境に配慮した事業活動を進めています。国内の各本支店、工事事務所では環境マネジメントシステム運用ツール「環境サイトナビパック」を用いて、事業所毎に環境リスクの抽出と対策、実績等を確認しています。

- ・環境汚染、有害物質の使用などに対しては、環境法令の遵守を徹底するよう、社内研修等を通じて周知徹底や意識向上に努めています。

- ・建設現場においては、定期的に環境監査や環境パトロールを実施しています。また、環境汚染を引き起こさないよう、有害物質などの取り扱いに関して社内マニュアルを整備し、取り組みを進めています。

<リンク先>

環境方針・環境マネジメントシステム

<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/environment.html>

#### 5 設問14：救済手続き

14-5 救済手続きの利用についての情報（申立ての方法やプロセス、申立ての件数や解決された案件の件数など）は公開していますか。※青字が追記箇所

- ・一部開示していますが、詳細については非公開としています。  
(以下リンク先ご参照)

・救済手続きのプロセスについては、社外 HP で開示しています。

(下記リンク先「相談窓口の設置」をご参照)

<リンク先>

大林グループ企業倫理通報制度

[https://www.obayashi.co.jp/sustainability/ethics/internal\\_reporting\\_system.html](https://www.obayashi.co.jp/sustainability/ethics/internal_reporting_system.html)

人権の尊重>相談窓口の設置

<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/employee.html#section1-4>

採用>就活ハラスメント相談窓口

<https://www.obayashi.co.jp/recruit/>

以上